

※※※※※※※ 重点品目野菜について病害虫の予防の徹底を図りましょう！ ※※※※※※※

農薬散布される前には必ず防除日誌を確認し、使用回数等使用基準を厳守！

○白ねぎ

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月下旬	アザミヤ類・ネギコガ ハモグリバエ	ディアナSC	2500～ 5000倍	収穫前日まで 2回以内
	さび病・べと病 黒斑病・葉枯病	テーク水和剤 ^注	600倍	収穫14日前まで 3回以内
	ボトリチス葉枯症 黒斑病	ロブラール水和剤	1000～ 1500倍	収穫14日前まで 3回以内

^注テーク水和剤はジマンダイセン水和剤やモンガリット粒剤等と使用回数が共通の為注意

○ボトリチス葉枯症・さび病は、出荷する葉にも影響がありますので防除の徹底をお願いします。

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
9月中下旬	アザミヤ類・ネギコガ さび病・べと病	ハチハチ乳剤 ^注	1000倍	収穫7日前まで 2回以内
	ボトリチス葉枯症 黒斑病	ロブラール水和剤	1000～ 1500倍	収穫14日前まで 3回以内

ネギの夏休み後の土寄せは最高気温が30℃下回る時期になって行って下さい！（軟腐対策）

○ナス

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
8月下旬～ 9月上旬	ハスモンヨトウ オオタバコガ	フェニックス 顆粒水和剤	2000～ 4000倍	収穫前日まで 3回以内
	うどんこ病 すすかび病	アミスター20 フロアブル	2000倍	収穫前日まで 4回以内
強風等の後	褐色腐敗病	ホライズンドライ フロアブル	2500倍	収穫前日まで 3回以内
		ランマンフロアブル	2000倍	収穫前日まで 4回以内

※褐色腐敗病は昨年も発生しております！

収穫時には気がつかないので予防を必ずしてください！！

○ミニトマト

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率	使用時期・回数
9月上旬	オオタバコガ ハモグリバエ類	プレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで 2回以内
	灰色かび病 葉かび病・斑点病 すすかび病	アフェットフロアブル	2000倍	収穫前日まで 3回以内
	灰色かび病 葉かび病・斑点病 すすかび病	ファンタジスタ 顆粒水和剤	2000倍～ 3000倍	収穫前日まで 3回以内

※単価が高い9月出荷にむけ、トマトトーンの使用（200倍液）を丁寧に行いましょう。

※気温が低下し、日射が弱まる気候になったら「遮光資材」を取り除きましょう。

※10日に1回はカキパック等（500倍液）のカルシウム剤の散布をしましょう。

○ピーマン

防除の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率/散布量	使用時期・回数
9月上旬	タバコガ類 アザミヤカ類	プレオフロアブル	1000倍	収穫前日まで 2回以内
	うどんこ病 斑点細菌病 斑点病	カスミンボルドー	1000倍	収穫前日まで 5回以内

※雨が多い時期はヘタの部分の傷みに注意して出荷をお願いします。

※10日に1回はカキパック等（500倍液）のカルシウム剤の散布をしましょう。

○広島菜【8月下旬～9月上旬定植】

「定植の適期は播種後20日!!」 定植が遅くならないよう圃場準備は早めに

防除の時期	対象病害虫	農薬名	散布量	使用時期・回数
植付前	根こぶ病	オラクル粉剤	20～30kg/10a 全面土壌混和	播種又は定植前 2回以内

定植時にネキリムシの対策を忘れずに!!

防除時期	対象病害虫	農薬名	散布量	使用時期・回数
植付時	ダイコンハマシ	ダイアジノン粒剤5	6kg/10a 全面土壌混和	定植時 1回

○ブロッコリー【7～8月定植】

予防の時期	対象病害虫	農薬名	希釈倍率/散布量	使用時期・回数
8月下旬～ 9月上旬	アオムシ コナガ・ヨウムシ	ディアナSC	2500～ 5000倍	収穫前日まで 2回以内
	軟腐病 黒斑細菌病	スターナ水和剤	2000倍	収穫14日前まで 2回以内
	菌核病・黒すす病	シグナムWDG	1500倍	収穫7日前まで 2回以内
	べと病		1500～ 2000倍	

○散布については、使用時期、使用方法を守り、予防的防除を心がけましょう。
詳しくは、営農指導員へご相談下さい。また、右記二次元コードからJAしまね
島根おおちのホームページからでも確認が出来ます。

